

## 身近なことから実践して

では、実際の生活に無理なくできることは何でしょうか。小さなことでも長く続けることが重要で、そのために、自分の生活スタイルに合った行動を見つけてから始めてみませんか。

次の二つは家庭でも無理なくできる実践例です。

### 買い物で

次のお店へ買い物に行ったとき、エコマークやグリーンマークなどの付いた、地球に優しい商品を選んでみましょう。子どもと一緒に、マークを探してみるのも楽しいかもしれません。また、マイバッグを持って、徒歩や自転車でも風を感じながら出掛ける

のも、気持ちがいよと思えます。

### 食事のとき

食べ物を残さないように作り過ぎない。旬の野菜や果物を食べる。食器を洗うときはいらぬ紙や布で汚れをふき取り、油や生ゴミなどを流さない。缶やペットボトルはきちんと分別しリサイクルへ。などなど、簡単にできることがたくさんあります。

## 市でも率先した取り組み

### 地球温暖化防止実施計画で

市では、市役所や市有施設から排出される二酸化炭素などの温室効果ガスを減らす取り組みを計画的に進めています。平成十二年度と比べ十八年度までに三割の削減が計画目標。電気やガス、公用車のガソリン使用を各課や施設で減らす努力を続けているそうです。

### グリーン購入の推進

紙類、外注印刷物、文具類、OA機器類、自動車などの分野で百二十一品目を定め、環境に配慮した商品を市で使用する物品に選んでいます。基準適合品がない品目以外では、ほとんど達成しているそうです。太陽光発電設備設置に補助金住宅用の太陽光発電システム



環境のため廃食用油による代替燃料で走る清掃車

## みんなで参加して大きな成果を

を設置する個人に補助する制度があります。これは旧宮城村にあった制度。合併後も引き続き行っています。対象は電力会社と受給契約を締結し、実績報告を提出できる人で申込期間は毎年十二月。先着順です。

自治会などへ参加申し込みをお願いした「CO<sub>2</sub>ダイエツト宣言」の削減集計結果は次のとおりです。

「これからやります」＝百六万五千二百四十四、「もつやっています」＝百七十万三千七十六  
このように、一人を取り組む

削減量はわずかでも、わたしたち市民みんなが力を合わせれば大きな成果が得られます。毎日できるだけ快適に過ごしたいという願いと、地球環境を守ることはどちらも大切ですが、両方を同時に実現させることが難しいことも明らかです。快適さだけを求めるのではなく、地球環境を守るために、今、できることから始めてみませんか。

小さな行動もみんなが一緒に行えば、大きな地球へのいたわりになることが、ダイエツト宣言の集計結果からも分かります。地球環境への配慮の気持ちを持って暮らすことを誰もが当たり前にできるように、わたしたちが取り組んでいかななくてはならないと思います。



宣言で受け取った苗木は「みやぎ千本桜の森」にも植樹する予定です